

大槌の自然を「楽しむ」

吉里吉里海岸で地引き網

7月8日（土）、砂浜が広がる吉里吉里海岸で地引網体験が行われました。この日の参加者は50名。そのうち、47名は町外から訪れた参加者です。

「いっせーの」。参加者は二手に分かれ、呼吸を合わせて網を引っ張り上げます。網を海岸まで引っ張り終えると、多くの魚が見えてきました。「この海岸で6回くらい地引網体験をしています。今日が一番多く取れています」と、NPO法人おつちのあそび代表の大場理幹さんは話します。海岸で跳ね上がる魚たちが釣り上げた魚は、みんなで水槽に入れて観察し、大場さんが魚を1匹ずつ解説しました。



一通り、魚に触れて学んだ後はお昼ご飯。今回は、新おつち漁協女性部から「岩手大槌サーモンのホイール焼き」が振る舞われ、参加者の皆さんは舌鼓を打っていました。

大場さんは最後に「三陸の海は四季で表情を変える海です。今回、夏に地引網体験に参加した人たちが、季節を通じてこの海を知り、また大槌町を訪れてくれれば良いと思います」と、吉里吉里海岸への思いを語ってくれました。

お魚豆知識

- ・カレイ
Q. カレイとヒラメの違いは、顔の向きの他に何か特徴があるのかな。
A. カレイは、虫などを食べるので口が小さく、ヒラメは、魚やいかなどを食べるので口がギザギザしています。
- ・ウミタナゴ
Q. 他の魚に比べて珍しい特徴があるけど、どんな特徴かな。
A. ウミタナゴは、魚類の中でも珍しく、卵ではなく子どもを産む魚です。

こんな魚が釣れました /



- ・イワシ
Q. 漢字で魚辺に弱いと書くのは何でなんだろう。
A. 鱗がすごく剥げやすく弱い魚だからです。

「地元愛」が「行動」に、「行動」がまた「地元愛」に



開始時刻は、午前6時！

7月9日（日）、早朝午前5時から鳴り響く草刈り機のエンジン音。この日は、吉里吉里海岸一斉清掃の日です。

開始予定時刻の1時間前に吉里吉里海岸に到着したのは、芳賀博典さんと松村雅信さんの2人。既に、草刈り作業が開始されています。その後も、開始時刻にはまだ余裕があるなか、駐車場には続々と一斉清掃に参加する人たちの車が列をなしています。

休日の早朝にもかかわらず、開始時刻には総勢300人が海岸に集合し、清掃に取りかかりました。

海岸清掃に先立ち、山長建設の協力のもと、海岸の砂地を重機で攪拌し、砂地に深く根付いていた草の根を取り除く作業が行われており、この日は、漂着した

海草や流木の破片などを手で取り除く作業が行われました。参加者は、家族や友人などで協力し合い、それぞれごみ袋やかごを手に、砂に埋もれている海草や流木の破片などを回収しました。

また、この日は浪板海岸でも、総勢50人の参加のもと、自治会の主催で初の一斉清掃が開催されました。

この「行動」は地元が好きだから！

朝5時から作業をしていた、松村雅信さんは、「自分たちの海を自分たちできれいにしていくという地元愛」がこの活動の原動力であると話します。

以前、公民館長を務めていた東谷藤右工門さん。「わが吉里吉里の、そして大槌の宝として、地元の人々が自分の庭として長く使っていくためにこれからは毎年続けていきたい」。40歳くらいから出勤前に道路の草刈りをおこなってきた背景には、地元吉里吉里、わが吉里吉里を訪れてほしい、その時に歓迎されていることを感じてほしいとの思いがあったそうです。

「毎年、町外からの参加者がいることに感謝し、吉里吉里の人たちにとって、『きれいな海を守っていく』という事がこの活動を通じて次の世代になっても継

続されていくよう努める。その責任を果たしていきたい」と吉里吉里地区教育振興運動協議会会長の芳賀新さんは語りました。昭和43年、「地元愛」から起こり、続けられてきたこの活動（行動）。それは「いつか」ではなくもうすでに、吉里吉里の人たちにとって「習慣」となり、新たな「地元愛」を育んでいます。



施設の「愛称」を地元から募集

吉里吉里海岸海水浴場関連施設「UMIDA吉里吉里」が完成

7月25日（火）の吉里吉里海岸の海開きの日に開設された、海水浴場関連施設の愛称「UMIDA吉里吉里」は、吉里吉里学園中学部出身の黒澤遼さん（岩手県立釜石高等学校1年生）が考えてくれました。

黒澤遼さんは、「(建物) 想像以上に立派にできていたと感じました。これからたくさんの人に訪れてもらい、吉里吉里がにぎやかな場所となってほしいです」と地元への思いを語りました。



「UMIDA 吉里吉里」を提案した黒澤遼さんに、町長から感謝状が贈られました。



移住定住 WEB サイト「ココカラオオツチ」ほか SNS で情報発信



▶ WEB サイト
大槌町の暮らしについて紹介しているほか、空き物件情報や地おこ募集の情報なども掲載



▶ インスタグラム ▶ ツイッター ▶ ライン



▶ フェイスブック



ぜひ活用して大槌の「居・色・自由」を楽しみましょう！

